

【実施日：2021 年 3月 16日】

(評価基準) A：取り組みが理想的な状態 B：取り組みがほぼ出来ている

C：取り組みにもう少し努力が必要 D：今後十分な努力が必要

保育士 10名

自己評価の観点		A	B	C	D	評価
1 園の理念・保育方針の理解						
	○園の保育理念や保育方針を理解している。	1	3	6		
2 保育所保育指針の理解						
	○保育所保育指針を理解していると思う	1	4	5		
3 保育課程の理解						
	○園の保育課程を理解していると思う。	1	6	4	1	
4 子どもの発達援助						
	○一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	2	7	1		
	○定期的に指導計画の評価・見直しを行いその結果を指導計画に反映している。		7	3		
	○指導計画を作成する際、園の理念や保育課程を基にして作成している。		5	4	1	
	○一人ひとりの子どもに関する発達状況、保育目標についての記録がある。	3	5	1		
	○一人ひとりの子どもに関する情報を周知している。	3	7			
	○一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、保育の実践について話しあう為のケース検討を必要に応じて実施している。	1	6	2	1	
5 健康管理						
	○保健年間計画に基づき子どもの健康管理を行っている。	1	8	1		
	○身体測定や健康診断の結果について定期的に記録し、子どもの健康状態を保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	6	4			
	○乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防に努めている。	6	4			
	○感染症の予防に努め保護者にも伝達している。	5	5			
	○登園時は視診や検温により子ども一人ひとりの健康状態を確かめている。	7	3			
6 食事						
	○食育を通して子どもたちが楽しく食べ、その中で食べる意欲が育つように配慮している。	4	5	1		
	○調理担当者と子どものコミュニケーションが図れるようにしている。	2	5	3		
	○月齢に応じた食事の量や形態(固さや大きさ)を理解し成長を促すことが出来る。	2	7	1		
	○その日の喫食(哺乳量)を保護者に伝えている。	5	4			
	○食事のマナーの基本的な考え方を理解し、子どもや保護者に伝えることが出来る。	1	5	3		
	○保育士と調理担当者が積極的に意見交換をし連携しながら食育活動を行っている。	2	6	2		

自己評価の観点	A	B	C	D	評価
7 保育環境					
○気候や子どもの活動に合わせ、温度・湿度・換気などに配慮している。	6	4			
○心地良く過せるように、環境を整えている。(清掃、整理整頓、室内装飾、作品展示等)	3	6	1		
○屋内外の衛生面・安全面に配慮している。	3	7			
○生活の場面に合った保育者の声、音楽などの音に配慮している。	3	6			
○子どもが自ら活動を展開して行けるような場や空間の構成をしている。	1	6	2	1	
○季節の変化に応じた環境構成をしている。	3	4	3		
○子どもの動線や目線に配慮した環境構成をしている。	3	5	1	1	
8 保育内容					
① 子どもへの理解と受容					
○子どもに分かりやすい温かな言葉使いで、穏やかに話している。	1	7	2		
○抑制したり、せかしたりする言葉を必要以上に使わないようにしている。		8	2		
○子どもの伝えようとする事に耳を傾け、何を求めているのかを理解し適切に対応している	1	9			
② 基本的生活習慣					
○基本的生活習慣については、一人ひとりの自主性を尊重し、家庭と連携しながら子どもの状況に応じて対応している。	2	6	2		
○着脱の自立に向けて年齢や個人差に応じた介助や関わり方を工夫している。	4	6			
○安心して休息〔昼寝〕が出来るように配慮している。	5	5			
③ 子どもの活動への関わり方					
○子どもの発達段階に即した玩具や遊具を、質・量ともに適切に用意している。	2	5	3		
○好きな遊びが自由に出来る時間やコーナーを用意している。	2	6	2		
○身近な動植物に接することにより、命の大切さや季節感など豊かな感性を育むように配慮している。	1	1	6	2	
○散歩などを通して地域の方々に接しあいさつや言葉を交わすなどしながら社会性を育む工夫をしている。	7	2	1		
○絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。	4	6			
○身体を使った様々な表現遊びを取り入れている。	2	8			
○様々な素材を使い、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮されている	1	6	3		
○年齢に応じ、順番を守る等の社会的ルールを身につけていくように配慮している。	3	7			
○相手の気持ちが分かるような声掛けや働きかけをしている。	2	8			
○色々な運動遊びを工夫しながら取り入れている。	1	7	2		

自己評価の観点		A	B	C	D	評価
④乳児保育						
	○授乳は子どもが欲しがるときに抱いて目を合わせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。					
	○離乳食については家庭と連携を取りながら、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。					
	○オムツ交換の際は優しく声をかけたりスキンシップを取りながら行っている。	1	7	1		
	○一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠が出来るように静かな空間が確保されている。	3	5			
	○外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けている。	2	7			
	○乳児の発達段階を理解し、個々の成長や場面場面での適切な対応に努めている。	1	6	1		
	○特定の保育士との継続的な関わりが保てるように配慮している。	1	7	1		
⑤長時間保育						
	○子どものその日の様子を職員間で伝達し合い、連絡事項などを確実に保護者に伝えるようにしている。	4	5	1		
	○長時間保育で不安にならないように家庭的な雰囲気を作り、安心して過せるように配慮している。	6	3	1		
	○一人ひとりの子どもの要求に応じて声をかけたり、必要に応じ抱いたり等、ゆったりとした気持ちで接している。	3	7			
9 安全・衛生・危機管理						
	○危機管理意識を常に持ち緊急時への対応が整えられている。	1	6	3		
	○緊急な場合に備えての訓練や研修が行われている。	5	4	1		
	○事故防止、安全管理のためのチェックリストを使い定期的に点検、確認が行われている。	5	4	1		
	○食中毒や感染症予防の具体的な取り組みを行っている。	2	5	3		
	○園内に危険な箇所や物がないか、危険な遊び方はないか等、常に確認している。	2	7	1		
10 守秘義務						
	○職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	9	1			
11 保護者支援〔入所園児〕						
	○個々の子どもの様子は送迎時に直接話したり連絡帳等を使い伝え合っている。	8	2			
	○クラスや子どもの様子、保育のポイント等をクラス便り等で知らせている。	5	5			
	○クラス懇談会や個人面談を行っている。	3	6		1	
12 地域への子育て支援						
	○子どもの発達や育児の不安等を気軽に相談できるように育児相談、栄養相談を行っている。		1	6	1	
	○一時保育の際、子ども一人ひとりに丁寧に接している。		2	1		

自己評価の観点		A	B	C	D	評価
13. 特別な支援を要する子どもへの対応						
	○特別な配慮が必要な場合の対応がされている。	1	5	2		
14. 保育の質の向上 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）						
	○保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		8	2		

園全体の評価

- ・新しい園ということでルールなどを話し合い、やり方を変えたりしながら皆で考えていけたのが良かった。
- ・感染症の時の対応をもっと共有すべきであった。
- ・昼礼での主活動の評価反省など自分の言葉で伝えていくので自分への振り返りとなる良い機会だと感じた。
- ・新規園、新メンバーということもあり、さらにはコロナの影響もあった中で、わからないことや不安なこともあったが、乗り越えられたのも風通しのよい人間関係が構築できたからだと思う。フォローし合える関係性が強みだと考える。
- ・新規園でモチベーションを維持したり向上心を持って動くことが足りなかったと思う。
- ・チームワークはよいと思うので園を活気付けられたら雰囲気良くなっていくと思う。
- ・新規園で皆がどうしたらよいかわからない状況かた園長、主任を筆頭に子ども保護者のことを考えながら円滑に進むように取り組めたと思う。
- ・問題が起きた際にはすぐに話し合えを設けて次に同じことが起こらないように皆で話し合えた。
- ・職員同士の各クラスの個々の様子を伝えあい、見守ることができた。
- ・コロナ禍もあり異年齢の関わりがあまり持てなかったので来年落ち着いたら多く取り入れていきたい。
- ・菊川園の保育方針はまだはっきりとしていないように思う。今年度を振り返ったりしながら、保育方針をはっきりと周知していけたらよりよくなると思う。
- ・保育しながら疑問に思ったこと等は保育士たちと話しあったり、園長に相談し、確認していくなどし、1つ1つ丁寧に解決していけたらと思っている。
- ・新規園のため、動きが難しかったが、保育士間で協力しあい、形になってきたと思う。1からのスタートだったからこそ、職員が1つにまとまったのだと思う。
- ・また子どもたち1人1人の発達段階に応じ、担任同士、話し合い個別の対応をよく行っていると思う。今度も一人ひとりに合った援助をしていきたい。
- ・2カ月遅れのスタートとなり、いろんな場所からの集合体ということもあり、保育全体としては手探り状態。まだ同じ方向へ向いているような感じはしない。
- ・保育園で経験のある人は今までやってきたことの良い所などもっと出し合って話し合っていくことも必要なのではと思う。人間関係は良好だと思う。
- ・園の理念や方針、理念の理解をもっと深めていく必要があると思う。
- ・子どもの主体性とは何なのかを考え、保育していく。難しいことではあるが、考え方を変えていくことは大切なのではないかと思う。

来年度の課題

- ・園の理念や方針、指針等の読み合わせをして理解を深める。
- ・共有すべきことの伝達もれなどないようにしていく。(聞いてない、知らないがないように)
- ・保育に関しての「?」や「こうしたほうがいい」など思ったことは立場がどうのということではなく、言える環境づくり。
- ・保育士間での声掛けを増やし、連携をとっていく。
- ・感染症などの対策や対応の仕方を確認していく
- ・余裕をもった保育をする。
- ・今年度は怪我が多かったように感じる。誰かが見ているからと気を抜かず事故防止に努めていきたい。
- ・わからないこと、はつきり決まっていなかったことなどが見つかったら、一つ一つ解決していき、立ち上げ園の状態から少しずつ安定させていく。
- ・リーダーとしてクラスをまとめること、自分のクラスだけではなく、周りのクラスにも目を向けられるよう視野を広くもつ意識をする。
- ・異年齢交流を深める。
- ・より良い保育を目指し、職員同士で意見交換。
- ・来年度は1年間築いてきた信頼関係(保護者と職員間等)を崩さないよう、今年起きた問題を繰り返さないように職員間で協力していきたい。
- ・今年は地域交流等がなかったため、来年度は積極的に交流していけたらよいと思う。
- ・保育士間で連携をもっと取り合えるよう全体で話す機会があればいいと思う。行事など積極的にどう進めていくかの計画が必要。
- ・個々の保育理念等の理解を深める。
- ・イベント準備の強化
- ・自分が学んできとことを大切に心に余裕をもって保育を行う。
- ・1年間の流れを意識し、見通しをもって計画的に保育を進める。